令和元年９月２４日

松江地区関係機関　　各位

（一社）島根県薬剤師会

常務理事　小椋　邦夫

「介護関係者と薬剤師の連携研修会」開催のお知らせ

　爽秋の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、この度昨年に引き続き、松江地区のケアマネジャー・訪問看護師・薬剤師の皆様を対象に連携研修会を開催する運びとなりました。

　現在、様々な場面でポリファー への介入の重要性が強調されています。しかし，複数疾患に罹患している高齢者等の場合、診療ガイドラインや複数の専門医の指示が複雑に絡み合い、どのように介入すればよいかという具体的な方法についてはわからないという声を多く聞きます。

　そのため、認知症や疾患の重症度、ＡＤＬ、生活状況等の患者情報を把握した上で、ケアマネジャーや訪問看護師、薬局薬剤師との多職種連携を積極的に行い、有害事象と残薬をできる限り減らすことが重要です。

　この度の研修会では、多剤投薬対策を実践されている薬剤師を講師にお招きしました。加えて、多職種で行うグループワークを通じて、自施設の取り組みの改善につなげていただきたいと考えています。

　ふるってのご参加をお待ちしています。

※１ポリファーマシーとは「Poly（多くの）」＋「Pharmacy（調剤）」の造語ですが、単に薬剤数が多いことではなく、薬剤が多いことにより、薬物有害事象(薬との因果関係がはっきりしないものを含め、薬を投与された患者さんに生じる好ましくない医療上のあらゆる出来事)につながる状態や飲み間違い、残薬の発生につながる問題のことをいいます。

記

　　　　日　時：令和元年１１月１６日（土）１４：３０～１６：３０

　　　　場　所：ホテル白鳥　鳳凰の間　（松江市千鳥町20）

　　　　内　容： **特別講演**

**「多職種で考えるポリファーマシー～明日からできることを考えよう～」**

**特定非営利活動法人エナガの会　副代表理事（薬剤師）山本哲也　先生**

1. 講演　　２．グループワーク

　※お申込みは**１０月３１日（木）までに**島根県薬剤師会へ**ＦＡＸで送信下さい。**

（一社）島根県薬剤師会　　ＦＡＸ　**（０８５２）２６－５３５８**

申　込　書

１１月１６日（土）開催の「介護関係者と薬剤師の連携研修会」に参加します。

事業所名

氏　名　　　　　　　　　　　　　（　ケアマネジャー　・　訪問看護師　・　その他　　いずれかに〇印　）

氏　名　　　　　　　　　　　　　（　ケアマネジャー　・　訪問看護師 ・　その他　　いずれかに〇印　）

氏　名　　　　　　　　 　　　　 （　ケアマネジャー　・　訪問看護師 ・　その他　　いずれかに〇印　）【薬剤師に質問したいことがありましたらご記入ください。】